

令和 4年 2月

HERMAWAN WIBISONO 学位論文審査要旨

主 査 岡 田 太
副主査 原 田 省
同 香 月 康 宏

主論文

Tracing location by applying Emerald luciferase in an early phase of murine endometriotic lesion formation

(マウス子宮内膜症病変の形成初期におけるエメラルドルシフェラーゼを応用した動態追跡)

(著者：Hermawan Wibisono、中村和臣、谷口文紀、妹尾美砂子、森本佳世子、吉村祐貴、原田省)

令和3年 Experimental Animals DOI: 10.1538/expanim.21-0146

参考論文

1. Animal models for research on endometriosis

(子宮内膜症研究のための動物モデル)

(著者：谷口文紀、Hermawan Wibisono、Khine Yin Mon、原田省)

令和3年 Frontiers in Bioscience (Elite edition) 13巻 37頁～53頁

2. A case report of an accessory and cavitated uterine mass treated with total laparoscopic hysterectomy

(腹腔鏡下子宮摘出術で治療したaccessory and cavitated uterine massの1例)

(著者：東幸弘、谷口文紀、Hermawan Wibisono、池淵愛、森山真亜子、原田省)

令和3年 Yonago Acta Medica 64巻 207頁～209頁

審査結果の要旨

本研究は、子宮内膜症の発症機序の解明を目的として、生物発光技術を応用した新規モデルマウスを作成し、初期段階の病変形成における非侵襲的かつ経時的な観察を行ったものである。子宮内膜症初期病変の好発部位や本システムにおける観察最適条件を示した知見は意義深い。本研究の内容は、子宮内膜症の発症機序の解明、さらには新規薬剤の効果や副作用の検証を可能とする実験システムを確立したものであり、婦人科学分野ならびに実験動物学分野における学術水準を高めたものと認める。